道徳 4.5年合同授業

平成20年11月18日 授業者 4年 T2萩原 斉 5年 T1佐藤真里子

- 1. 主題 「石川さんの唄」
- 2. ねらい
 - ・郷土の優れた文化・伝統に関心をもつことができる。
 - ・ふるさと福岡の良さに気づくことができる。
 - ・自分たちの伝統を引く継いでいこうとする気持ちを高めることができる。
- 3. 資料『石川さんの唄』

4. 本時の流れ

4. 本時の流れ			
時間	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	留意点
5分	1. 鹿踊・剣舞に対する気持		・事前に記述さ
	ちを聞く。		せておく。
	・5年生…鹿踊・剣舞を踊って		
		●楽しかった。	
	・4年生…これから鹿踊・剣舞		
		●自分にできるか不安。	
	どう思うか。		
	※板書する(T 2)		
	0 次业(益业)大津)本王		次をおよれる事
	2. 資料(前半)を読んで話し合う。		・資料前半は事前に配布し読ま
	※資料前半の範読(T 2)		世でおく。
	・福岡小学校で鹿踊・剣舞が	●	G (40 / °
	始まったのはいつからか。	●昭和50年 ■ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	716 776 77 97 6		
	・剣舞の唄を今唄っているの	●石川さん	
	は、だれか。	●壽さん	
	○どうして地域の人たちは,剣	●テープの声を聞くとみんなが悲しい気持	
	舞の唄をだれかが受け継いで	ちになるから。	
	ほしいと願ったのか。	●ふるさとに 300 年以上も伝えられてきた	
		剣舞の唄だから。	
	◎頼まれた石川さんはどう考		
	えたか。		古 ハ ユギー ユーさ
	・石川さんの気持ちを考える。	●困った。 ●自分にできるか不安だった。	・自分だったらどうするか考え
		●日分にできるが小女にろた。 ●お父さんのかわりに自分が唄おうと思っ	
		た。	G. G. O.
		へ。 ● 300 年以上も伝わってきたものだから,	
		伝えていかなければならないと思った。	
	・石川さんからお話を伺う。	M/C (
	石川さんの話(1)		
	〈すごく困った〉		
	一度も踊ってみたいと		
	・どうやって覚えたらV		
	・300 年の歴史がある唄		
1			

プリントを配 3. 資料(後半)を読んで話 し合う。 布する。 ※資料後半の範読(T2) ・録音テープとノートを見せ ●唄がたくさん書いてあってすごい。 ノートは実物 てもらう。 拡大機で映し出 「お父さんのテープ」を聞●すごい雑音で、よく分からない。 して見せる。 ●このテープを聞いて石川さんが唄をノー いてみる。 ・「お父さんのテープ」を聞 トに書くのが難しかったと思う。 きながら、剣舞の唄を一緒に 唄ってみる。 ・「今のテープ」を聞いてみ ● 唄がよく分かる。 る。 ●一緒に唄える。 ◎どうして難しい唄を覚える
●地域の人の笑顔 自分だったら のをやめなかったのか。 ●テープで練習している保存会の人や小学 どうするか考え させる。 ●おかあさん、おとうさんの気持ち ・石川さんからお話を伺う。 石川さんの話(2) ・自分の唄で地域の人を楽しませたい 4. 石川さんに質問する。 ・質問に答えて いただく。お話 (3回目)の内 ・石川さんからお話を伺う。 石川さんの話(3) 容の質問が出な ・どんなおとうさんだったか。 い場合は, 萩原 ・実際に練習を始めた頃の苦労話 先生(T2)か ・鹿剣を通して、学んでほしい3つの心 ら質問してもら 5. これからどんなことに気 ●ワークシートに書く。 自分のことに をつけて練習していきたいか。 置き換えて考え る。 時間があれば、 発表させる。 6.

5. 評価